

藤沢市教育委員会 7月臨時会 会議録

日 時 2023年(令和5年)7月28日(金)

午後2時00分～4時08分

場 所 市民会館 第2展示集会ホール

1 開会

2 会議録署名委員の決定

3 議事

(1) 議案第19号 令和6年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択について

(2) 議案第20号 令和6年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について

(3) 議案第21号 令和6年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校
の特別支援学級用教科用図書の採択について

4 閉会

出席委員

- 1 番 岩 本 將 宏
- 2 番 市 村 杏 奈
- 3 番 飯 盛 義 徳
- 4 番 種 田 多 化 子
- 5 番 石 井 由 佳

出席事務局職員

教育部長	峯 浩 太 郎	教育部参事	近 尚 昭
教育部参事	加 藤 財 英	教育指導課長	丸 谷 英 之
教育指導課主幹	植 松 梢	教育指導課指導主事	伊 勢 直 子
教育指導課指導主事	青 木 ちひろ	教育指導課指導主事	中 村 田
教育指導課指導主事	黒 坂 稔 之	教育指導課指導主事	平 田 憲 司
教育指導課指導主事	長 嶋 宏 子	教育指導課指導主事	織 田 宗 之
教育指導課指導主事	森 学	教育指導課指導主事	林 理 絵
教育指導課指導主事	石 井 力	教育指導課指導主事	福 島 周 三
教育指導課指導主事	関 雄 樹	教育指導課指導主事	寺 内 照 雄
教育指導課指導主事	坂 口 由 紀	書 記	小 門 前 清 彦

午後 2 時00分 開会

岩本教育長

皆様、こんにちは。

お待たせをいたしました。定刻となりましたので、ただいまから「藤沢市教育委員会 7月臨時会」を開会いたします。

傍聴人の皆様におかれましては、傍聴券の裏面に記載しております遵守事項、(1) 飲食し、または喫煙しないこと。(2) 議事に対し、批判を加え、または可否を表明しないこと。(3) みだりに傍聴席を離れないこと。(4) 写真、ビデオ等を撮影し、または録音しないこと。(5) 会議場の秩序を乱し、または会議の妨害となる行為をしないこと。

以上 5 点を守っていただき、円滑な議事進行のため、ご静粛にさせていただきますよう、よろしくお願いをいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

それでは、会議録署名委員を決定いたします。

本日の会議録に署名する委員は、2 番の市村委員、3 番の飯盛委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本教育長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、2 番の市村委員、3 番の飯盛委員にお願いをいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

これより議事に入ります。

議案第19号「令和6年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択について」を上程いたします。

事務局の説明を求めます。

丸谷教育指導課長

それでは、議案第19号「令和6年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択について」を説明いたします。(議案書参照)

令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について、でございますが、小学校用教科用図書については、本年度は、令和6年度から小学校において使用される教科用図書について、教科書目録の中から協議の上、1 種目につき1 発行業者のものを採択することとなります。

また、法令によりまして、中学校用教科用図書は、基本的に採択替えを行った時点から4 年間は同じ発行業者のものを採択することとなっております。

このあと、令和6年度使用小学校用教科用図書についてご協議いただきますが、採択にあたり、見本本のほかに調査研究の参考としてお使いいただいた資料を確認させていただきます。

まず、文部科学省の「小学校学習指導要領」、教科書発行業者が編修の趣意をまとめた「教科書編修趣意書」、神奈川県教育委員会において調査研究した結果をまとめた「小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和6・7・8・9年度使用）」です。

次に、市独自の資料といたしまして、本市教科用図書採択審議委員会からいただいた「令和6年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果について（答申）」、同審議委員会において、調査員を任命し、作成いたしました「小学校用（令和6・7・8・9年度用）調査資料」、また、各小学校長の責任のもと、県の調査研究の観点等に沿って、自校の教員に4項目の観点ごとに調査研究させた「令和6年度使用教科用図書調査書」、そして、「令和6年度使用小学校用教科用図書調査書まとめ」につきましては、その資料を事務局がまとめたものになります。

さらに、保護者及び市民向けに、各小学校及び藤沢市役所分庁舎2階会議室において、教科書展示会を開催した際にいただいた「令和6年度使用教科用図書意見書」、それをまとめました「令和6年度使用教科用図書意見書一覧表」となっております。

最後に、市民の皆様等からいただいた要望書についても、教育委員の皆様にはご覧いただいております。

それでは、提案理由等を説明いたします。

この議案を提出したのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条の規定により、小学校用教科用図書については、令和5年度に採択替えを行う必要があるものでございます。

本年5月に、教育委員会定例会で決定した「令和6年度使用藤沢市教科用図書の採択方針」に基づき、採択する教科用図書につきましては、採択日程に沿って、展示の実施、各小学校長による調査研究、審議委員の委嘱または任命、教育長による審議委員長への諮問、調査員の任命と調査資料の作成を経て、第2回藤沢市教科用図書採択審議委員会におきまして、小学校用教科用図書の審議を行い、種目別にまとめられた審議内容が答申されております。

3ページの別紙をご覧ください。

審議いただく令和6年度使用小学校用教科用図書発行業者別一覧表で
ございます。

議案書につきましては、1～2ページに記載のとおりでございます。

以上、よろしくご審議いただき、ご決定くださいますよう、よろしく
お願いいたします。

岩本教育長

事務局の説明が終わりました。

委員の皆様には、今、事務局が説明をいたしましたさまざまな資料に基づき、これまで調査・研究をしていただきました。

これから協議に入りますが、協議方法について、私から提案をさせていただきます。

協議方法については、私たちが調査・研究する際に使用した資料における観点を踏まえ、この場では3つの観点、1つ、学習指導要領との関連、内容・構成。2つ、分量・装丁・表記等。3つ、本市の児童の実態や地域等の特性との関連。

以上3つを軸として、総括的に協議したいと考えます。

なお、教科によって、発行業者数が2者から7者までとなっています。そのため、審議に当たっては、3者以下の教科については、選択したいと考える1者について、ご意見をいただきたいと思います。

また、4者以上の教科につきましては、適切と考える発行業者についてご意見をいただきたいと思います。

そして、それぞれ協議を進める中で1者を決定してまいりたいと考えます。

なお、英語については、令和6年度以降、英語の学習者用デジタル教科書を、紙の教科書と合わせて提供される予定であることから、デジタル教科書についても、ご意見をいただく中で審議を進めたいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、そのように進めたいと思います。

初めに、「国語」から協議を始めます。

発行業者は3者で、東京書籍、教育出版、光村図書出版です。1者に絞ってご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、光村図書出版の教科書がよいと思いました。

全学年を通して、大切なことや見通し、問いを持てるような、学びを助けるためのポイントが掲載されているのですが、1年生・上巻のほとんどのページでは、そういったポイントの記載がなく、まずは、掲載されている内容や物語に集中して取り組める構成になっており、非常に考えられたつくりになっていると思いました。

各ページにある、「たいせつ」と書かれたポイントが、教科書の後半で全てまとめられており、この教科書では何を学んだのかを、振り返ることができてよいと思いました。

保護者としては、このページを見るだけでも、子どもがこの学年で、

国語という教科を通じてどんなことを学ぶのか、また、学んだのかがよく分かり、家庭の中で子どもと一緒に学んだことの振り返りをする一助になると思いました。

6年生の教科書にある「デジタル機器と私たち」では、公共の場で使う際のマナーや情報をどう取り扱うかといったネットリテラシーなどについて、グループで話し合いながら身につけることができる構成になっており、とてもよいと思いました。

「課題解決に向けて考える」では、大分類となる課題を書いて、それを小さく分割して解決策を導き出したり、どういった順序や手順で物事を進めるのがいいかを、フローチャートで考えたりするような手法が掲載されており、プログラミング的思考力を身につけるためのよい内容になっていると思いました。

「本の世界を広げよう」では、多くの本の紹介があり、学びを深めるよいきっかけになると思います。

これらの理由から、光村図書出版がよいと判断しました。

種田委員

私も、光村図書出版がいいと思います。

私も、見本本を拝見して、こちらには、昔から、長い間読み続けられている物語が多く収録されております。

そして巻末には、「言葉の宝箱」あるいは「季節の言葉」というページもあり、子どもたちの言葉に対するセンスがいろいろ磨かれて、語彙が豊かになっていくことが期待できます。

また、どの学年も巻末の「漢字一覧」が、とても見やすかったです。

こういう理由で、光村図書出版を推薦いたします。

飯盛委員

まず最初に、教科書につきまして、全般的にどういった考え方をしたかということの説明させていただいて、国語についてのお話をさせていただきたいと思っております。

私は、基本的には、現場の先生方が支持されていることが非常に大切なポイントだと思っております。さまざまな教科書を拝見しまして、全体的に、子どもが学びに興味を深めてくれるための工夫がいろいろと凝らされているということは感じました。

また、対象とする学年、各学習者のレベルにあわせて内容がわかりやすく構成されていて、子どもたちが興味をもって学習できるような工夫がなされているということが大切なポイントだろうと思って、全ての教科を見てまいりました。そのために、冒頭にありましたように、私は地域性ということにも着目をして拝見したつもりです。

あとは、根本に立ち返って、「学校教育ふじさわビジョン」の基本理念

でも標榜されておりますように、子どもたちがともに育つ場をつくりだし、「自己の知」、「状況の知」、「かかわりの知」を育む、こういったことを実現できるような可能性があるものを見ていきたいと考えておりました。

そこで国語でございます。私も光村図書出版を選べればと思っております。

まず、学年によって文字の大きさとかレイアウトとか、うまく配慮されていて、あと、学びのポイントがわかりやすくなっていると感じます。

また、SDGsとか、多様性の社会などにも配慮されていて、藤沢市の基本理念に合致しているのではないかなということを感じます。

何より、先生方の支持も多く、「児童の実態に合っている」というコメントもございました。学習の継続性にもメリットがあるものだと考えております。

ですので、光村図書出版を選べればと思っております。

石井委員

どれも読みごたえがあって、丁寧な表現など、とても豊かな内容であったと思います。私も光村図書出版が、藤沢の子どもたちにとってという観点から見ますと、3年生のところに出てくる「こま」のお話などからは、藤沢の「片瀬ごま」のところの話を広げたりとか、6年生の「海の命」は美しい絵で、また、そういった角度から、子どもたちの海に対するいろいろな心を育むという意味で、とてもいいのではないかなと思いました。

また、二次元コードなどで、低学年での動画つきの読み聞かせとか、作者のご紹介、辞書の引き方の動画もあったりしまして、非常によかったかなと思います。

岩本教育長

それでは、私からも意見を述べさせていただきます。

国語の教科書について述べさせていただく前に、今回の教科書採択全般について、私も考えを述べさせていただきます。

今回の教科書採択に際しまして、各学校において調査研究をしていただき、「教科用図書調査書」としてまとめていただきました。この調査書は、実際に教科書を用いて授業をする先生方の貴重なご意見ですので、私は、大変大切な資料として捉えております。

また、教科用図書採択審議委員会におきましては、学校長や保護者の委員の皆様、調査員による調査研究を参考にして、熱心にご審議をいただきました。そして、答申としてまとめていただきました。会議では、保護者の立場からの貴重なご意見を聞くことができ、大変参考になる内容でございました。

また、市民の皆様には、展示会におきまして大変多くの貴重なご意見をいただきました。各教科に対するご意見とともに、教科書採択全般に対するご意見もいただきました。

私は、これらの意見を参考にさせていただきながら、全ての教科書を比較検討し、藤沢市の子どもたちに最もふさわしいと思われる教科書を選択させていただきましたので、それぞれの選択理由を述べさせていただきます。

それでは、国語について述べさせていただきます。

私も、光村図書出版を推薦させていただきます。

理由につきましては、問いや対話が生まれやすいような工夫が随所に見られ、子どもたちの自発的な学習につながると思いました。また、文字の大きさ、行間隔など、子どもたちにとって読みやすい工夫が見られ、各学年に応じた、発達段階に配慮した構成になっていると感じたからでございます。

今、各委員からさまざまご意見をいただきました。まず、今までのご意見に対して、ご質問やご意見がございますでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、無いようですので、各委員が選ばれました状況を申し上げますと、全員、光村図書出版を選ばれたということですので、国語につきましては、光村図書出版ということによりよろしいでしょうか

(「異議なし」の声あり)

それでは、「国語」につきましては「光村図書出版」にいたします。

××

次に、「書写」に移ります。

発行業者は3者で、東京書籍、教育出版、光村図書出版です。1者に絞ってご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、光村図書出版の教科書がよいと思いました。

6年間を通して、表紙に描かれているネコたちが紙面の中にも登場するのですが、文字を書く際の特徴に合わせてネコが体を使って表現をしています。例えばトメのところでは、足でピタッと止まってみせたり、ハネのところでは、ピョンと飛んで表現しています。これが可愛いだけでなく、児童がその文字の特徴を捉えるのに一役買っていると思いました。

毛筆に取り組むページが豊富にあるだけでなく、手がきのポスターやリーフレット、防災マップなどをつくるページがあり、パソコンでサッとつくれてしまうこの時代でも、このような作品を手がきでつくる

機会があるのは、とても素敵なことだと思いました。

種田委員

これらの理由により、私は光村図書出版を推薦したいと考えています。

私も、光村図書出版を推薦したいと思います。

光村図書出版は、子どもに考えさせる場面、あるいは友達と対話する場面、そういうものを設けています。相手に読みやすいように字を書いていこうとする主体的で対話的ところが、これから字を書いていこうとする、よい姿勢につながると思いました。

飯盛委員

書写につきましては、私も光村図書出版を選びました。

毛筆と硬筆の組み合わせがうまく検討されていると感じました。さらに、学んだことをほかの教科で生かすという例も示されていて、広がりを感じました。見やすいノートの作り方という内容は、ほかの科目にも役立つものですし、将来的にも役立つというふうに考えます。

また、先生方のご意見の中に、「国語の教科書と同じ会社が扱いやすいのではないか」というような声もございましたので、それも理由の一つでございます。

石井委員

私も、光村図書出版の教科書がよろしいかと思いました。

理由としては、二次元コードで、右手や左手の各利き手に関する書き方の説明が動画でも示されていて、とても親切でした。

また、曲がりとか払いとか、1文字ずつを認識できるような流れになっていたかなと思います。

また、高学年でローマ字の説明もあり、他の教科で学習したことが生活の中で生かせるようなつくりになっていたかと思えます。

岩本教育長

私も光村図書出版を推薦させていただきます。

理由につきましては、きれいに整った文字を書くための方法を子どもたちに問うことで、主体的に取り組むことを促しています。

また、イラストなどが大変多く用いられており、子どもたちが理解しやすい工夫がなされていると感じたところでございます。

さまざまご意見をいただきました。まずは、ご意見に対してのご質問、ご意見がある方、いらっしゃいますか。

(質問、意見等：なし)

それでは、各委員が選ばれた状況を申し上げますと、皆さん、光村図書出版ということになりますので、書写につきましても、光村図書出版に決定でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「書写」につきましては「光村図書出版」といたします。

XX

次に、「社会」に移ります。

発行者は3者、東京書籍、教育出版、日本文教出版です。1者に絞ってご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、教育出版を推薦させていただきたいと思います。

3年生の教科書では、冒頭に「生活科をふり返ろう」というページ、ほかの学年の教科書の冒頭には、「前の学年をふり返ろう」というページがあり、学んできたことがつながっていることを意識できるつくりになっていました。

ほかの教科とのかかわりについても書かれており、いろいろな教科で身につけた力を使って、さらに学びを深めるイメージがつかめるのではないかと思います。

「つかむ、しらべる、まとめる、つなげる」といったサイクルを繰り返す、学びを深める構成になっているのがよいと思いました。学んだことを次の学習につなげていくことは、学んだことを人生や社会に生かしていくための練習になると思います。

また、清掃工場で働く方のお話、自治会の会長のお話、地域に暮らす住民の話など、非常に多くの方から伺ったお話を、全ページにわたって掲載しており、実際にかかわる方がやっていることや、思いなどを知ることができて、とてもよいと思いました。

種田委員

私も、教育出版を推薦したいと思います。

教科書の随所に、「次につなげよう」という欄が設けられており、多角的に考えられるようになっていると思います。そして、どの学年も、1冊にまとめられています。

また、3年生の教科書では、「わたしたちのまちと市」というところで、藤沢市の児童にもなじみのある「よこはま動物園ズーラシア」や「東海道」、4年生では、「宮ヶ瀬ダム」、「寒川浄水場」、「小笠原東陽」、このような、本当に藤沢市になじみのある部分が出てきます。子どもたちも興味深く勉強するのではないかなと思いました。

以上の観点から、教育出版を推薦いたします。

飯盛委員

私も、社会につきましては、教育出版を推薦させていただきたいと思っております。

市村委員、種田委員がおっしゃったコメントと非常に近いことですが、これからの子どもたちには、やはり問題発見・解決能力が求められるということは論を待たないと思います。この教科書には、「学びてびき」とか「この時間の問い」とかというコーナーが設けられていて、学習内容を多角的に捉えられる仕組みが取り入れられているところが

きいと思います。そして、「次につなげよう」のコーナーがあって、トータルで「問題発見、解決学習」を促すような仕組みが整えられていると思います。

また、藤沢市にゆかりのある色々なところも取り上げられていて、子どもたちが関心をもってくれるのではないかと思います。

以上により、教育出版を選びました。

石井委員

私も、教育出版の本が、藤沢市の子どもたちには、とてもなじみが深いのではないかと思います。

特に、6年生の歴史のパノラマ型の年表がとても分かりやすく、また、巻末の歴史地図の索引も使いやすいと思いました。

「日本とつながり深い国々」では、ブラジルなどが挙げられ、国際化が進む藤沢の子どもたちに適しているのではないかと思います。

岩本教育長

最後に、私も、教育出版を推薦させていただきます。

理由につきましては、さまざまな学習場面において、多様なコンテンツを利用しながら学習できる二次元コードを多数掲載していること、学習内容をSDGsと関連づけて学習するなど、新しい学習への工夫が積極的に取り入れられております。

また、藤沢市の羽鳥にあった耕余塾の小笠原東陽が取り上げられており、子どもたちにとって身近な内容が取り上げられていると感じたからでございます。

さまざまご意見をいただきましたけれども、ご意見に対してのご質問等、ございますでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、各委員の選ばれた状況を申し上げます。

今回も皆様、教育出版を選ばれましたので、社会については、教育出版ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「社会」につきましては「教育出版」にいたします。

XX

次に、「地図」に移ります。

発行業者は2者で、東京書籍、帝国書院です。1者に絞ってご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、帝国書院の教科書がよいと思っています。

各ページにある「地図マスターへの道」では、例えば「富士山を探してみよう」といった、そのページの地図にある特定の場所や絵を探したりする問題が出されており、子どもたちが楽しみながら地図に親しむこと

ができると思いました。

同じく各ページに掲載されている「世界のSDGs」では、日本では想像がしにくいような困難を抱えている国のこと、また、その困難に対していろいろな取り組みを行っていることがわかり、さまざまな国の理解を深めることができる構成になっています。

「江戸時代の結びつき」のページでは、藤沢市と関係の深い東海道と、その宿場の地図が掲載されており、浮世絵の紹介なども掲載されているので、藤沢市にある「浮世絵館」で学びを深めようといったきっかけにもなりそうだと思います。

種田委員

私も帝国書院の地図を推薦したいと思います。

地図を初めて使う3年生にとって、「地図ってなんだろう」、「地図のやくそく」など、わかりやすく入っていくことができます。

また、明治時代初期の地図も掲載されていて、今と比較することができます、興味深く勉強することができると思います。

さらに、「日本の自然災害と防災」というコーナーで、「防災マップづくり」がありまして、こういう防災マップづくりを考えるのは、とても大切なことだと思います。

さらに、「高地のくらし」というところで、藤沢市八ヶ岳野外体験教室の資料も載っております。

こちらが、藤沢の子どもたちにとって、いろいろ興味深い内容であると思いましたので、帝国書院の地図を推薦いたします。

飯盛委員

地図につきましては、私も帝国書院を選びました。

初めて地図を見る子どもたちにとって、わかりやすくなるような工夫がなされていて、また、各学年の社会科の学習で資料としても活用できるところは、大切なポイントではないかと思っております。

あと、種田委員がおっしゃったように、防災マップのつくり方を通して、自分たちの地域の防災マップづくりを体験することで防災意識を向上させることができます。

さらに地図を生かしたりとか、あと、地図に関心をもつことで、生きた学習につながっていくのではないかということを感じました。

また、八ヶ岳の情報も、「日本の自然の様子」のページに掲載されているので、藤沢市の子どもたちにとっては親しみがもてて、主体性のある学びにつながっていくのではないかということを感じました。

石井委員

私も帝国書院の地図が見やすいと思いました。

広く見渡す地図と、詳しく見る地図と分かれていて、すっきりとして見やすく感じました。

また、地図の文字が、赤い太字だったり、赤字だったり、青字だったり、緑だったり、黒だったり、目的によって色分けをされていて、わかりやすいと思いました。

地図のみならず資料集としても価値があるのかなと思いました。

岩本教育長

私も、帝国書院を推薦させていただきます。

理由につきましては、子どもたちの欲しい情報を見つけやすいように情報が精選され、すっきりと見やすい構成になっています。

また、防災マップの作成法が取り上げられ、自然災害を自分ごととして捉えながら学習できる構成となっており、児童の主体的な学習に役立つ構成になっていると感じたからでございます。

さまざまご意見をいただきました。まずは、ご意見に対してのご質問等、ございますでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、状況を申し上げますと、皆さん、帝国書院をお選びになりましたので、地図につきましては、帝国書院でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「地図」につきましては「帝国書院」といたします。

XX

続きまして、「算数」に移ります。

発行者は6者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、東京書籍の教科書がよいと思いました。

各種調査資料や採択審議委員会の委員のご意見にもありましたが、各学年の「算数マイノート」がとてもよいと思いました。ノートのまとめ方の工夫が、お友達の手書きのノートを見ているような、他者参照の形式で掲載されており、単にノートづくりのノウハウだけではなく、よいものを取り入れるといった習慣もつけられるのではないかと思います。

「自分の考えを書きあらわそう」では、ほかの人が見てもわかりやすい内容になっているか、と意識できる問いかけがあったり、「友達と学ぼう」では、ほかの人の考えを知り、自分の考えとどう違うのかを考えたり、ほかの人のよいところを見つけたりすることができるような構成になっていて、よいと思いました。

個別で学びを深めることも大事ではありますが、社会に出ると、さまざまなことを誰かと共同して取り組むことになります。自分の考えを相手にわかるように伝え、また、ほかの人の意見や考えを受け入れ、取り入

れながら学ぶと、進めていく力が身につくと思いました。

二次元コードでアクセスできる教材では、手を動かして問題に取り組めるものも多々あり、楽しみながら学べると思いました。

種田委員

私も、東京書籍を推薦したいと思います。

まず、全体的に色合いがやさしい感じがします。また、神奈川県の記事が掲載されている場面があります。

そして、時計の学習では、1ページを使って時計が大きく描かれていて、意外に時計でつまずく子もいるので、とてもいいなと思いました。実際の生活にとっても役立つ時計です。

そして算数では、やはりつまずきが多いので、「おぼえているかな」という設定があり、それを繰り返して、また次につなぐというところがあります。そして、難易度別に設問されていて、ステップアップできる、意欲的に学習に取り組むことができるようなところがいいと思いました。

以上の理由で、東京書籍を推薦いたします。

飯盛委員

私も、算数の教科書には東京書籍を推薦したいと思っております。

「大切なポイント」などが枠でしっかりと囲まれて見やすくなっていて、とてもわかりやすい。そして、学習に取り組みやすくなるような工夫が凝らされていると感じました。

また、数学的な考え方が身につくように、ノートづくり方とか活用法なども示されています。これは大切なポイントだと思っております。これによって、算数の苦手克服にも役立つのではないかと期待をしています。

あと、「情報量も適切で扱いやすい」という先生方のご意見もあります。

こういった点を総合しまして、算数の教科書には東京書籍を推薦いたします。

石井委員

私も東京書籍のものがよかったと思いました。

2年生からの「新しい算数プラス」では、子どもたちの進度にあった補充問題や、おもしろ問題、プログラミングなどを提示していて、学びが進みやすいと思いました。

また、6年の最後に、「算数卒業旅行」のコーナーなどもあり、中学への導入として入っていきやすいつくりになっていると思いました。

次点として、学校図書のものもよかったと思います。巻末のまとめでは、本に出た言葉の一覧などもあり、5年生からはそこに英語表現もあって、非常に工夫されていると思いました。

岩本教育長

私も、東京書籍を推薦させていただきます。

理由につきましては、基礎的な知識、技能を身につけるための工夫や配

慮が見られます。一方で、「今日の深い学び」においては、既習事項を駆使して発展問題にチャレンジすることで、達成感につながる工夫が見られます。

また、ノートづくりを重視し「マイノートを学習に生かそう」で、ノートの活用について取り上げていますが、ICTの積極的な活用が求められる現在だからこそ、ノートをつくることは大切なことであると感じたからでございます。

ただいまご意見をいただきましたけれども、これまでのご意見に対してのご質問等、ございますか。

(質問、意見等：なし)

それでは、各委員の選ばれた状況を申し上げますと、皆さん、東京書籍を選ばれました。算数につきまして、東京書籍とすることによってよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「算数」につきましては「東京書籍」にいたします。

XX

次に、「理科」に移ります。

発行者は6者で、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、啓林館でございます。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、大日本図書の教科書を推薦させていただきたいと思っております。

学びの順序としては、まず問題を発見し、計画を立て、調べたり記録をし、自分の考えを振り返りながら、結果から問題の答えを導き出し、わかったことをまとめて他者と共有したり、自分の考えをより深めたりするという構成になっています。

自分たちで問題を見つけるんだという意識を持つことで、日ごろ疑問に思っていることをみんなと共有したり、「なぜ」、「なに」を深掘りしたりする習慣が身につく、学びを深めることができると思っております。

採択審議委員会でもご意見が出ておりましたが、各ページにある二次元コードで実験動画などを視聴できるため、紙面や口頭による説明だけでは理解が難しい児童にとって、視覚的に捉えて理解できるため、学びやすくなると思っております。

藤沢市の子どもたちにとって身近な場所が複数取り上げられており、実際にその場所に行ってみるなど、学びを深めるきっかけになるのではないかとと思っております。

種田委員

私も、大日本図書を推薦いたします。

実際の実物の写真などを用いて示しています。そして、各ページに二次元コードがあって、口頭だけの説明では理解しにくいところも、写真あるいは二次元コードでわかりやすいものになっていると思います。

これは、ほかの教科書も同じですが、特に大日本図書では、3年生の自由研究に湘南台文化センターのこども館が紹介され、5年生では、新江ノ島水族館が紹介されています。そして、6年生の「土地のつくりと変化」では、江の島が地震で隆起してできたというふうに、江の島が教材になっています。身近なところで興味深く勉強できると思いました。

以上で、大日本図書出版を推薦いたします。

飯盛委員

私も、理科につきましては、大日本図書を推薦できればと思っております。

種田委員がおっしゃったとおりで、3年生に湘南台文化センターこども館が紹介されていたりとか、また、5年生の「科学博物館に行ってみよう」では、新江ノ島水族館が取り上げられています。また、6年生の「土地のつくりと変化」が、江の島が例として掲載されていて、藤沢の子どもたちにとって、とても親しみやすい、興味もてる、意欲もてる内容ではないかなと考えています。

そういったことからスタートして、科学的な思考に興味を持ってもらえればということを期待しております。

石井委員

私も、大日本図書を推薦したいと思います。

理由としては、他科とのつながりとか、整理の仕方とか、検索の仕方などが巻末でまとめられていて、使いやすいなと思いました。

また、実験とか観察などでの注意事項を枠で囲って目につきやすく表示していることによって、子どもたちが何に気をつけて行ったらいいかということもわかりやすくなると思いました。

また、5年生で、台風と防災の学びがありまして、巻末に「災害に備えようブック」というものを作成できるので、自分のこととして学べる機会になると思いました。

岩本教育長

理科でございますけれども、私も、大日本図書を推薦させていただきます。

理由につきましては、実験の説明が丁寧で、観察や実験の方法や手順が、写真や図を交えてわかりやすく示されています。子どもたちが主体的に課題を見つけ出し、理科学的な見方から解決をするような工夫が見られるところです。

また、各委員お話しいただきましたように、藤沢市の写真が随所にございまして、子どもたちにとって身近に感じる内容というふうに感じた

からでございます。

いただきましたご意見につきまして、何かご質問がございますでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、状況でございますが、皆さん、大日本図書を選ばれました。理科につきましては、大日本図書とすることよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「理科」につきましては「大日本図書」といたします。

×××

次に、「生活」に移ります。

発行者は7者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版、光村図書出版、啓林館でございます。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、東京書籍の教科書がよいと思っています。

小学校に入学してすぐに学ぶ教科である生活ですけれども、こちらの教科書では、まずは、身近な学校や家庭での生活、校庭や公園などの野外活動、そして範囲を広げていって町の図書館などの施設といったように、児童が身近なところから徐々に場所と関わる人が増えていく構成になっているため、安心して新しい生活に慣れていけるのではないかと思います。

季節を生かした遊びや生活の仕方も掲載されており、子どもたちの心豊かな生活の参考になる教科書だと感じました。

上巻の巻末にある、「ほんとうのおおきさいきものずかん」のページでは、紙面上だけではなく二次元コードでアクセスできるデジタル図鑑も用意されていました。野外活動で発見できる植物や生き物などをいつでも見ることができるようになっているため、学びを深める助けになると感じました。

私も、デジタル図鑑を見てみましたが、ウスバカゲロウがアリを捕まえる動画では、思わず声を上げてしまいました。子どもたちであれば、より興味をもって見るのではないかと思います。

種田委員

私も、東京書籍を推薦いたします。

東京書籍は、文字が少なく写真がわかりやすい。特に1年生では、ドキドキワクワク1年生となり、単元が始まり、本当に自分の身近な教室、友達、そして学校、町へと広がっていきます。そして、市村委員もおっしゃいましたが、「ほんとうのおおきさいきものずかん」、そして「デジタルいきものずかん」、こちらは、とても子どもたちの興味を引く教材だ

と思われましたので、東京書籍を推薦させていただきます。

飯盛委員

私も、生活につきましては、東京書籍を推薦させていただきたいと思っております。

生活という科目は、教科書を拝見しますと、やはり子どもたちの成長の度合いによって内容が異なってくる科目だと思います。その意味で、東京書籍の教科書は、低学年においてスタートカリキュラムなどが丁寧に取り扱われていると感じます。また、学年を上がっていくごとに広がりも感じられます。

また、二次元コードにアクセスすると、「季節のくらし図かん」で、藤沢市が紹介をされていますので、学んだことを実際の生活の中で実感できることも大切なポイントかなと思いました。

石井委員

最初に全ての教科書を拝見したときに、どの出版社のものも、学校生活へのイントロダクションとしてワクワクする学習内容になっているなと感じました。

私も、中でも東京書籍のものは、上巻の「かつどうべんりてちょう」などで、いろいろな提案や考え方を示していたり、「約束」でいろいろな注意喚起を行っていたりと、子どもたちにとって非常に大切なことを示している教材だと思います。

また、双葉と花と種の草花による比較が工夫もあり大きくてわかりやすいと感じました。

藤沢市に住む子どもたちとしては、平塚であったり極楽寺であったりと近くのもものが紹介されていて、なじみやすいと思いました。

次点として、光村図書出版のものもヨシタケシンスケさんの表紙と内容で、押しつけではなく受けとめやすいつくりになっていて、次点としてはよかったかと思いました。

岩本教育長

生活でございますけれども、私も、東京書籍を推薦させていただきます。

理由につきましては、単元の導入のページにおいて、実際の体験と学習内容が自然に結びつくように工夫され、生活に即した学習となるような構成になっていると思いました。

写真やイラストが多く用いられており、子どもたちの興味関心を引きつける工夫が数多く見られました。

今までのご意見に対しまして、ご質問がございましたらお願いをいたします。

(質問、意見等：なし)

それでは、各委員の選ばれた状況でございますけれども、次点として

光村図書出版が挙がりましたが、皆さん、東京書籍を選ばれましたので、生活につきましては、東京書籍ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「生活」につきましては「東京書籍」といたします。

×××

次に、「音楽」に移ります。

発行業者は2者で、教育出版と教育芸術社です。1者に絞ってご意見をお願いいたします。

それでは、お願いいたします。

市村委員

教育出版、教育芸術社、どちらも非常に豊富な楽曲が載っており、迷ったのですが、教育芸術社の教科書がよいと考えました。

特に、1、2、3年生用の教科書になりますが、歌や曲に対しての挿絵が豊富に使用されており、情景や登場するもののイメージがしやすいと思いました。例えば2年生の教科書に掲載されている「虫の声」では、歌に登場する、最近では見る機会も少なくなった虫の写りが載っているため、こういう鳴き声を出すのはこんな虫なんだと思い浮かべながら歌うことができ、親しみをもてると思いました。

また、タブレット端末の活用として、二次元コードを読み込んで、いろいろな歌や曲を聞いたりできるようになっていますが、音楽づくりの体験もできることが、とてもよいと思いました。

私もアクセスして、クロックミュージックづくりなどを実践してみましたが、手軽にできて、より深い学びにつながると感じました。

世にある作品や、自分でつくった作品に対しての著作権について知ることができるページもあり、とてもよいと思いました。

音楽に限らずですが、IT技術の発展で作品づくりが、より身近になった今の時代で、必要な観点だと思いました。

種田委員

私も、音楽については、教育芸術社を推薦いたします。

教育芸術社では、写真に加えてわかりやすいイラストを使っています。それで紙面がすっきりしています。

そして、本編と振り返りのページがあって、そこにイラストが共通していて、振り返りやすいと感じました。

さらに、児童の発達段階を考慮いたしまして、「考える」、「見つける」というふうに児童が主体的に学べるようになっていきます。学習の目標も自然と身につくように感じましたので、音楽については教育芸術社を推薦いたします。

飯盛委員

私も、音楽につきましては、教育芸術社を推薦させていただければと

思っております。

発達段階に応じて発展的に音楽に取り組めるように工夫がなされた構成になっていると感じます。

また、4年生の「地域に伝わる踊りや舞いの音楽を調べよう」というコーナーでは、神奈川県内の神楽が取り上げられていて、子どもたちにとっては、より関心をもてる内容になっているのではないかと、主体的な学びになっていくのではないかと考えております。

また、先生方の支持も多く、この教科書を推薦できればと思っております。

石井委員

私も、ほかの委員の方々と同意見で、教育芸術社のものを推薦させていただきたいと思えます。

写真の中に入っている歌詞とか文章などの配置や、文字など見やすく配慮されていたかと思えます。

また、「歌い継ごう、日本のうた」などでは、親の世代からの歌の紹介があったり、「みんなで楽しく」などで、たくさんの歌や外国の歌などが紹介されていました。

二次元コードも各ページにわかりやすく配置されていて見やすかったですし、美しいプロの音色を聞くことができ、あとは、箏などにも触れることができるつくりで、とてもよかったですと思えます。

いろいろな音楽を聴いたり触れたりして心が豊になり、その音楽の持つ力、メッセージ性などを感じ、自分にとっての音楽を考えていくことができるような内容であったかと思えます。

岩本教育長

音楽につきましてですが、私も、教育芸術社を推薦させていただきます。

理由につきましては、字や絵が多く取り入れられ、児童が興味を持って学習に取り組める構成になっています。特に楽器の紹介については、大きさとか質感までわかるように工夫がなされています。

また、イラストにおいては、人物の吹き出しが効果的に使われて、その意図が子どもたちに伝わるような工夫がなされているというふうに感じました。

これまでのご意見に対して、ご質問がございますか。

(質問、意見等：なし)

それでは、各委員の選ばれた状況でございますけれども、皆さん、教育芸術社を選ばれましたので、音楽について、教育芸術社ということでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「音楽」につきましては「教育現術社」と決定いたします。
×××

次に、「図画工作」に移ります。

発行業者は2者で、開隆堂、日本文教出版の2者でございます。1者に絞ってご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、現行の教科書でもあります開隆堂の教科書がよいと思いました。

教科書のタイトルにあらわれていますが、1、2年生・上巻の「わくわくするね」では、いろいろな道具や材料を使って楽しむことから始まり、下巻の「みつけたよ」では、自然の中にあるさまざまな色や形を見つけて、それを生かすことができるような内容になっています。

3、4年生・上巻の「できたらいいな」では、自分の発想を形にするような内容になっており、下巻の「力を合わせて」では、個々のひらめきを持ち寄って、みんなで大きな作品をつくれるような構成になっています。

そして、5、6年生・上巻の「心をひらいて」では、表現することの大切さを理解できるような内容になっています。「表現することは、自分を知り、他者を知り、人と違うところや同じところに気づき、人を理解することにつながります。」という言葉が印象的でした。

最後の下巻である「つながる思い」では、作品に込められた思いを感じ、また、作品を通して人と人がつながることができる、そのことを知ることができる内容になっていました。

タブレット端末を十分に活用できるようなつくりにもなっており、二次元コードを読み込むことで道具の使い方や、つくる作品のイメージがしやすく、振り返りに活用できるシートのダウンロードなどもできるようになっていました。

また、各種映像なども見るできるようになっていますが、各業種で活躍されている方々のインタビューがあり、図画工作で身につけた力が未来につながっていることを知ることができて、とてもよいと思いました。

種田委員

私も、図工については、開隆堂さんを推薦いたします。

まず、レイアウトがとてもわかりやすい。そして、各題材の下には二次元コードがあり、タブレット端末を活用して学習することができます。

さらに1、2年生の下巻では、茅ヶ崎市での「砂の造形あそび」が紹介されています。藤沢でも海が近い小学校では、同じように造形遊びを行っていると思うので、身近に感じられると思います。

さらに、児童に育成していきたい資質、能力の柱を、「くふうさん」、

「ひらめきさん」、「こころさん」というキャラクターにして、児童に対して親しみやすくわかりやすいものにして学習するようになっていきます。

やさしく工夫していろいろな人とつながっていく、そういう図工になると思います。開隆堂さんを推薦いたします。

飯盛委員

私も、図画工作につきましては、開隆堂を推薦したいと思います。

全体的にレイアウトがとても見やすく、学ぶ意欲を高める工夫がなされていると感じました。

また、学年が上がるごとにテーマが社会全体に広がっていく構成になっていて、SDGsに関するテーマも盛り込まれています。これからは、「ものづくり」と社会との関係性を意識していくことは極めて重要なポイントだと思います。そういったことにも配慮されていると思います。

さらに低学年には、今、種田委員がおっしゃったように、茅ヶ崎市の「砂の造形あそび」が紹介されていて、藤沢市の子どもたちも身近に感じて関心を高めてくれることにつながっていくのではないかというふう

に期待をしております。

石井委員

私も、開隆堂さんのものがよかったなと思いました。

「あわせて学ぶ」とか「学習のめあて」とか「学びの資料」など、非常にわかりやすく、他科とのつながりもできるようになっていたと思います。

「みんなのギャラリー」では、地域の特性を生かした造形活動が取り上げられ、硯とか江戸の扇子とか、日本の伝統のわざを、児童が、職人さんから教えていただく様子が取り上げられていて、鑑賞とか表現と関連づける学びの工夫があるなと思いました。

藤沢の子どもたちにとって、という意味では、地元の鎌倉彫であったり、箱根の寄木細工などもあって、地域の工芸品をつくるなど、関心を高める機会につながっていくなと思いました。

岩本教育長

最後に私ですけれども、図画工作につきましては、開隆堂を推薦させていただきます。

理由につきましては、二次元コードが積極的に活用されており、作業が動画で確認できたり、作品の鑑賞ができるようになっていたりすることなど、新しいコンテンツを駆使している点が評価できるなと思いました。

内容においては、「表現と鑑賞」が関連する構成となっているので、子どもたちは取り組みやすいなと思いました。掲載されている写真が大きくて、鑑賞の授業において活用がしやすいと感じたところがございます。

これまでのご意見につきまして、何かご質問がございますでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、各委員の選ばれた状況につきましては、今回も、皆さん、開隆堂を選ばれたということですので、図画工作につきましては、開隆堂ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「図画工作」につきましては「開隆堂」といたします。

岩本教育長

会議の途中ですけれども、開会から1時間以上が経過しておりますので、ここで休憩をとりたいと思います。

それでは、事務局から連絡をお願いいたします。

事務局

それでは、ただいまから15分程度休憩をとらせていただきます。3時25分まで休憩とさせていただきます。

傍聴の方におかれましては、3時25分までに、今お座りの席にお戻りいただくようお願いいたします。再入場の際は、傍聴券を確認させていただきますので、よろしくお願いいたします。

午後3時10分 休憩

午後3時25分 再開

岩本教育長

それでは再開をいたします。

「家庭」からになります。

発行業者につきましては、2者でございます。東京書籍、開隆堂です。1者に絞ってご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、開隆堂の教科書がよいと思います。

「生活の課題と実践」では、ステップ1として、まず、課題の発見、決定があり、次のステップで計画の策定、ステップ3では実践、ステップ4では振り返りや評価を行い、改善策を考え、最後のステップで次の一歩を考えるといったように、PDCAサイクルのような構成での取組方が掲載されていました。このような手法は、大人になって仕事をする上でも有用なスキルになってきます。

また、生活の中のプログラミングでは、どういう流れであれば目的を達成できるか、より効率的に動けるかなどを考えさせる内容になっていました。アルゴリズムを考えることは、掲載されているようなご飯の炊き方や、洗濯の仕方などにとどまらず、あらゆる場面で生かせることだと思います。

二次元コードでも、手順を並び替えるといった問題に取り組むことができ、楽しく学べる内容になっていました。

種田委員

私も、開隆堂さんの本を推薦いたします。

どの教科書も写真やイラストを多用してわかりやすくなっておりすが、特に開隆堂さんは、「生活を支える物やお金」という題材で、児童にとって身近で興味深いショッピングモールが取り上げられています。

さらに2年間でまとめて振り返り、中学校への学習につなげるページも設定されています。生活をする上で、本当に身近な家庭科の教科書として開隆堂さんを推薦いたします。

飯盛委員

私も、家庭につきましては、開隆堂を推薦したいと思っております。

家庭の教科書を拝見しますと、それぞれ各者さん工夫がなされていて、それぞれ魅力はあると思いました。

開隆堂は、ショッピングモールでの買物のように、生活に密着した題材が取り入れられておりまして、子どもたちが興味、関心を持って、また理解が深まるような工夫がなされていると感じました。

あと、先生方のコメントに、「児童にとって課題発見や解決を見出すためのきっかけとして有効である」というふうなコメントもあって、これは、この視点はとても重要だと感じました。

そのため、開隆堂を推薦する次第でございます。

石井委員

私も、皆さんと同様、開隆堂さんの教科書がよかったなと思います。

食生活の単元の中での記載で、「地域のお味噌汁」については、社会の地図にもつながるし、楽しんで教科を超えた学習になるなと思いました。

また、「中学につなげよう」という中では、やはり今までと同じように防災について、地域での防災、地域とのかかわり合いの大切さなどについての学びがあり、年齢にかかわらず地域の一員であるという自覚が育まれるものと思いました。

岩本教育長

家庭でございますけれども、私は、開隆堂を推薦させていただきます。

理由につきましては、基礎的な知識や技能の習得がしやすい構成となっております。作業手順の写真やイラストが大きく、視覚的に理解できるので、感覚的に捉えやすい構成になっていることは評価できます。

説明文については、わかりやすい、やさしい言葉で書かれている印象で、理解しやすいと感じました。

これまでのご意見に対してのご質問、いかがでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、皆さんの選ばれた状況でございますけれども、皆さんが開隆堂を選ばれましたので、家庭は、開隆堂ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「家庭」につきましては「開隆堂」にいたします。

×××

次に、「保健」に移ります。

発行業者は6者、東京書籍、大日本図書、大修館、文教社、光文書院、学研教育みらいです。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

保健の教科書に関しては、6者とも、いい意味で構成が似通っており、非常に悩みました。6者の中でも、私は、光文書院と学研教育みらいの2者を推薦したいと考えています。

特に、学研教育みらいについてですが、タブレット端末の活用が進んでいる昨今では、タブレットの適切な使い方を身につける必要があります。3、4年生の教科書で、タブレットを使うときの健康面での注意事項がしっかりと載っており、よいと思いました。5、6年生の教科書では、心と体が密接に関係しており、どちらの健康にも気を遣う必要があるということがしっかり学べる構成になっていました。

二次元コードのコンテンツも一通り見させていただきましたが、「チャイルドライン」や「こどもの人権110番」などのリンクに直接つながることができるので、悩みを抱えている児童の、相談のハードルを下げることができるのではないかと思います。

生活習慣病は、大人になってから発症するケースが多いですが、子どものころから正しい生活習慣を送ることで発症のリスクを下げるができると思いますので、小学生のころから、自分の生活を振り返り見直すことができる内容になっている点も、非常によいと思いました。

種田委員

私も、本当に迷いましたが、どの教科書も、体育科の目標、心と体を一体として捉え、生涯にわたって健康の維持、増進と、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。そういうことを目指しているところが、どの教科書もよかったと思います。

ただ、私も学研教育みらいを推薦させていただきます。

児童にとって身近なイラストが使われていて、主体的に学ぶことができると思います。身近な題材、特に5、6年の教科書には、藤沢の「子ども（こども）の110番の家」というものが載っていて、身近に感じて勉強をしていただけるとうれしいなと思いました。

そのような理由から、私は、保健については、学研教育みらいを推薦させていただきます。

飯盛委員

私も、保健につきましては、学研教育みらいを推薦させていただきたいと思います。

構成がとてもわかりやすく、進め方を3段階に分けて丁寧に展開を

していると感じました。段階を経るごとに学びが深まり、生活に活用していくことができるようになる構成だと感じます。

まさに学んだことを活用できるようになるかどうかというのが大切なポイントだと感じておりまして、その意味で学研教育みらいの教科書を推薦したいと思います。

石井委員

私も、6者を拝見させていただきましたが、本当にどれも甲乙つけがたい内容であったかなと思います。中でも、学研教育みらいのものは、けがの防止などのことも詳しく書かれ、そのときにどのようにしたらいいかということも丁寧に書かれていました。

また、病気の予防という観点がとても大事かと思いますが、病原体、そして薬物、たばこなどの危険についてもわかりやすく書かれていて、とてもよかったと思います。

また、次点としては文教社のものが自助、共助、公助についてわかりやすく触れられていて、地域の一員としての自分も考えられるような、よい内容であったかと思えます。

岩本教育長

保健でございますけれども、私も、学研教育みらいを推薦させていただきます。

理由につきましては、イラストや写真が多く掲載されており、生徒がイメージしやすい構成になっています。特に、実生活に即した内容を精選し、子どもたちにとって学習内容と実生活とを結びつけて考えることがしやすいと感じました。

主体的に学習に取り組むことができる内容になっていると感じたところでございます。

これまでのご意見に対しての、ご質問はございますか。

(質問、意見等：なし)

それでは、委員の選ばれた状況でございますけれども、今回、市村委員と石井委員から2者推薦をされましたが、皆さんが学研教育みらいを推薦されましたので、保健につきましては、学研教育みらいということでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「保健」につきましては「学研教育みらい」ということで決定をいたします。

×××

次に、「英語」に移ります。

発行者は6者、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書出版、啓林館でございます。

英語につきましては、今回は、デジタル教科書も考慮の1事項としての教科書採択となります。そのことも含めて、ご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、6者の中で1者を選ばせていただいて、東京書籍がよいと考えています。別冊の“My Picture Dictionary”では、動物や色、スポーツなどのジャンルごとの単語だけではなく、英語で会話する際の表現、例えば褒めるときだったり、驚きを伝えるなどの表現が掲載されており、さまざまな活用方法があると思いました。

併せて“Digital Dictionary”で音声聞くことによって、より学びが深まると思います。映像や音声なども活用しながら、まずは内容を理解し、友達や先生と会話をして、学習内容を定着させ、さらに発表などで英語でのコミュニケーションを身につけ、言葉の背景にあるさまざまな国の文化を知るといった構成になっており、「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」の4技能をバランスよく学べると思いました。

デジタル教科書について、私は、パソコンでウェブページとして、全てのデジタル教科書を見させていただいて、使い勝手としては、どの者もよいものになっているなど思いました。

中でも、東京書籍のデジタル教科書についてですが、クリックするだけで音声や映像が見られるのは、手軽でいいと思ったのと、紙面でもデジタルでも、東京書籍の教科書は書き込みができる箇所が多いのですが、デジタル上では何度も書いたり消したりできるので、繰り返し活用できるのは便利だと感じました。

また、映像には字幕のボタンがありますので、最初は字幕ありで視聴して、リスニングになれてきたら字幕なしで、といったように習熟度に合わせて学び方を変えられる点もよいと思いました。

種田委員

私も、英語に関しては、東京書籍を推薦いたします。

東京書籍は、デジタル教材が本当に豊富で、二次元コードを利用して映像を繰り返し見られたり、聞いたり、あるいは字幕ボタンもあります。さらに、さまざまな形式で書き込みをしていくので、自分の教科書ができ上がっていく、そういう取組をできることがいいと思いました。

さらにデジタル教科書では、市村委員もおっしゃいましたが、該当箇所をクリックすると、そこを見られたり、拡大することができたりして、とても便利だと思いました。

以上の理由で、英語については、東京書籍を推薦いたします。

飯盛委員

私も、英語につきましては、東京書籍を推薦いたしたいと思えます。本当に各社ともいろいろな工夫がなされていて、デジタル教材もいろ

いろユニークな機能が取り込まれていると思いました。

東京書籍では、二次元コードを用いて、音声、映像を繰り返し視聴できて、英語を楽しく学べる工夫が随所になされていることを感じましたし、実際に先生方の評価も高かったと感じます。

また、市村委員、種田委員がおっしゃったように、たくさん書き込みをしていく仕組みになっているので、「読んで」、「聞いて」、「話して」、「書いて」という複数の感覚を生かした総合的な学びにつながるのではないかと期待をしています。

とにかく子どもたちが英語に興味を持って、コミュニケーションができるようになってもらえるような工夫が随所になされていることを実感いたしました。そのため、東京書籍を推薦したいと思います。

石井委員

私も、ほかの委員と同様に東京書籍のものがよかったと思います。

“My Picture Dictionary”のほかに、巻末の“Letter Images”などでは、イメージを通して字の形とか音を思い出すようなヒントになる二次元コードもあったりして、Sの字をヘビのSnakeと、動き出すようなアニメーションにもなっていて、とても印象に残りやすいなと思いました。

あと、二次元コードの部分では、音楽にのって発音して、楽しい気持ちになってリズムもよく学習しやすくなっているなと思いました。

あと、先ほど市村委員がおっしゃったように、デジタル教科書はとてもシンプルで扱いやすいものであったかと思います。

次点として、三省堂のものもよかったと思います。

最後にある“Story Time”というのは、非常に落ち着いた感じで、物語の読み聞かせもあって、絵を頼りに物語を読んだり聞いたりして親しみやすいものになっていたと思いました。

岩本教育長

英語でございますけれども、私は、東京書籍を推薦させていただきます。

理由につきましては、全体的に楽しく学習ができるような構成になっている。扱っている題材が日常生活だけでなく多岐にわたっており、グローバルな視点での学習にも役立つ構成になっていると感じました。

デジタル教科書につきましては、さまざまな機能がタッチ操作で実現でき、視覚的に理解しやすいと感じました。また、音声が出ることや、映像が出ることで、感覚的に理解することが容易になると感じました。

ただいまのご意見について、ご質問がございますでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、各委員が選ばれた状況でございますけれども、石井委員が

三省堂も推薦をされましたが、皆さんが東京書籍を推薦されましたので、英語については、東京書籍ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「英語」につきましては「東京書籍」ということにいたします。

××

最後に、「道徳」となります。

発行者は6者で、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研教育みらいでございます。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

私は、光村図書出版の教科書を推させていただきます。

巻末の「学びの記録」では、2年生まではシールを使って、5、6年生は、感想を書くことで、これまでの学びを記録して振り返ったりすることができるようになっていきます。

私も、勉強した分野や内容や勉強時間を、アプリを使って日々記録していますが、学びが積み上がっていくのが視覚的に確認できることによって、学ぶことのモチベーションを高めることができます。このような仕組みは、とてもよいと思いました。

道徳は、心について考える大切な教科となりますが、全体的にやさしい色使いと雰囲気があり、ヨシタケシンスケさんの「なんだろう なんだろう」のページを初め、各学年に対応した「心」を題材にしたお話がたくさん掲載されており、自分の心だけではなく他者の心を知り、よりよいコミュニケーションを身につけていくことができるような教材になっていると思います。

種田委員

私も、道徳には光村図書出版を推薦いたします。

光村図書出版は、全学年にわたって淡い色使いで、やさしい雰囲気で構成されております。また、いじめ防止について考えるところがありまして、光村図書出版では、実際に、その場面を演じてみて、学びを自分ごととして捉えられる、捉えるという工夫がされておりました。

また、4年生では「ウミガメ いのちをつなぐ岬」で、ウミガメのことが書かれておありまして、藤沢には新江ノ島水族館もありますし、海をきれいにする、命について考える、あるいは6年生では、「鯨とプラスチック」、海洋汚染について書かれています。本市でも、ビーチクリーンや江の島ヨットハーバーにマイクロプラスチックを回収する装置を設置するなど、環境保全に力を入れていますので、身近な課題として勉強、意欲が湧くと思います。また、道徳性を養っていけると感じました。

そういう理由で、光村図書出版を推薦いたします。

飯盛委員

私も、道徳につきましては、光村図書出版を推薦させていただきます。

ページ構成とか内容が、子どもたちの興味関心を高めるようになる工夫がなされていると感じます。実際、複数の先生方が、色使いなどについて高い評価をされています。

また、「演じて考えよう」では、実際に何かの場面を演じることを取り入れることによって、ひとごとではなくて、自分ごととして課題を捉えるという非常に大切なポイントを学べるのではないかと考えています。

さらに、自分の考えを述べたり、人の意見を聞いたりするときの言い方や態度などが具体的に示されていて、思いやりを持って対応する、コミュニケーションの基本姿勢が学べるのではないかと期待をしておりますので、私は、光村図書出版を推薦いたします。

石井委員

私も、光村図書出版の道徳がよかったなと思いました。

どの教科書も、たくさんの当事者の文章や作品を通して、命や心について考える機会を与えてくれる教科書であったとは思いますが、特に光村図書出版のものの中では、「話し合いのあいうえお」などにありますように、みんなで話し合うこと、上手に話し合うコツなどについても丁寧に示されていたりして、主体的、対話的に学習活動が行えるのではないかとと思いました。

また、5年生で、「大谷選手の目標達成シート」というものが掲載されていて、今、非常に注目の選手でありますし、すばらしいシートで、子ども心に響くものと思いました。

次点として、東京書籍のものは、青とピンクの円でつくる「心のメーター」というのは、口ではなかなか言いにくいものを形で表現するという意味でよかったなと思いました。

岩本教育長

道徳でございますけれども、私は、光村図書出版を推薦させていただきます。

理由につきましては、いじめ防止や情報モラルなどを取り上げていますが、これらは、子どもたちに深く考えてもらいたい喫緊の課題です。

ほかにも、人とのかかわりの中で自分らしく生きていくために考えさせたい内容が、発達段階に応じて数多く掲載されていると感じました。

また、海洋汚染の内容は、藤沢市の子どもたちにとって身近であり、より深い学びへつながることが期待できると感じたからでございます。

これまでの皆様のご意見に、何かご質問がございますでしょうか。

(質問、意見等：なし)

それでは、委員の選ばれた状況を申し上げますと、石井委員が、東京

書籍も推薦をされましたけれども、光村図書出版を皆さんが推薦されたので、道徳につきましては、光村図書出版ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「道徳」については「光村図書出版」ということにいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

これで、13種目全ての教科用図書について決定をいたしました。

全体を通して、委員の皆様が、学校現場の先生方の意向を尊重した選択になったと感じたところでございます。

議案第19号「令和6年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択について」は、ただいま決定をしましたように、「国語」は「光村図書出版」、「書写」は「光村図書出版」、「社会」は「教育出版」、「地図」は「帝国書院」、「算数」は「東京書籍」、「理科」は「大日本図書」、「生活」は「東京書籍」、「音楽」は「教育芸術社」、「図画工作」は「開隆堂」、「家庭」は「開隆堂」、「保健」は「学研教育みらい」、「英語」は「東京書籍」、「道徳」は「光村図書出版」を採用することによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

岩本教育長

それでは、議案第19号「令和6年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択について」は、ただいま申し上げました13種目の教科用図書を採択いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

次に、議案第20号「令和6年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について」を上程いたします。

事務局の説明を求めます。

丸谷教育指導課長

議案第20号「令和6年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について」、説明いたします。(議案書参照)

この議案を提出したのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条の規定により、中学校用教科用図書については、令和2年度採択と同一のものを採択する必要によるものです。

6ページの別紙をご覧ください。

採択する中学校用教科用図書は、記載のとおりでございます。

議案書につきましては、4ページから5ページに記載のとおりでございます。

以上、よろしくご審議いただき、ご決定くださいますよう、願います。

たします。

岩本教育長

事務局の説明が終了しました。

「令和6年度使用藤沢市立中学校用教科用図書」につきましては、事務局の説明にもありましたとおり、法令により令和2年度と同一のものを採択することになっております。

このことについて、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、ご異議がないようですので、議案第20号「令和6年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について」は、令和2年度に採択したものと同一のものを採択することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

次に、議案第21号「令和6年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について」を上程いたします。

事務局の説明を求めます。

丸谷教育指導課長

議案第21号「令和6年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について」を説明いたします。(議案書参照)

「令和6年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書」については、教科書目録に登載されている教科書及び学校教育法附則第9条の規定による一般図書の中から採択することになっております。

このあと、ご協議いただきますが、採択に当たり、見本本のほかに、調査研究をするのに参考としていただいた資料を確認させていただきます。

まず、文部科学省の「学習指導要領」、そして神奈川県教育委員会から示された「令和6年度使用特別支援教育関係教科用図書調査研究の観点」でございます。

次に、市独自の資料ですが、教科用図書の採択審議委員会からの答申のほか、特別支援学級設置学校長及び特別支援学校長が自校の教員に調査研究させた「令和6年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書」、また、今回、新たに教科書として希望のありました新規図書と、複数種目で希望のありました図書の内容、また、「児童生徒の特性を踏まえた選定の理由」等についてまとめました「令和6年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書まとめ」です。

それでは、提案理由等を説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条並びに学校教育法附則第9条第1項の規定により、採択する必要によるものです。

学校教育法附則第9条の規定による一般図書につきましては、文部科学省初等中等教育局教科書課長通知を参考にして、児童生徒の障がいの種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容であることや、体系的に編集されていること、他教科の図書等との関連性も考慮すること、高額なものに偏ることがないようにすること、さらに採択した図書が完全に給付される見込みがあることなどに留意して審議することとしております。

採択する教科用図書につきましては、令和6年度使用藤沢市教科用図書の採択方針に基づき、採択日程に沿って、特別支援学校長及び特別支援学級設置校長による調査研究、審議委員の委嘱又は任命、教育長による審議委員長への諮問を経て、第3回藤沢市教科用図書採択審議委員会におきまして審議が行われました。

その結果、「昨年度まで採択されている一般図書は、来年度供給が困難なものを除き、引き続き使用できること」、「新規図書や複数種目で希望がある一般図書は、いずれも適切であること」と、考える内容が答申されております。

9ページ以降27ページまで記載している「令和6年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書」は、藤沢市で昨年度採択された一般図書及び今年度新たに希望があがった一般図書を一覧にしたものです。

「新」と書かれたものは、藤沢市立学校において、今回新たに希望が出されたもので、「□」印の書かれた図書は、複数の種目で希望が出されたものでございます。また、無印のものについては、昨年度、本市で採択されているもの、「●」印で書かれた図書は、その中で来年度発行業者による供給が困難となっているものでございます。

なお、27ページにございますように、点字教科書や拡大教科書も、学校教育法附則第9条の規定による一般図書として給付の対象となります。

また、本市の小中学校で採択されている検定済教科書並びに☆印本と呼ばれる特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書も給付の対象となり、これらの教科用図書の中から、無償給付の対象となる特別支援学校における小・中学部及び小・中学校の特別支援学級の児童生徒一人

に対して、種目ごとに適した教科用図書1冊が給付されます。

また、高等部においては、無償措置の対象外となりますが、学校教育法附則第9条の規定による一般図書、及び教科書目録に登載されている教科書を使用することとなります。

議案書につきましては、7から8ページの記載のとおりでございます。

以上、よろしくご審議いただき、ご決定くださいますよう、よろしくお願いいたします。

岩本教育長

事務局の説明が終わりました。

それでは、これから協議をまいります。

まず、本市で昨年度までに教科用図書として採択されてきた図書については、引き続き使用していくということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、昨年度までに採択されている図書については、引き続き使用することとし、議案書9ページ以降にあります、今回、新たに希望があった図書と、複数の種目で希望があった図書について協議をまいります。

協議の方法について、私から提案させていただきます。

9ページのナンバー1「国語・書写」から、26ページのナンバー10「道徳」まで、一括して協議していくことではいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、このことについて、ご意見を願います。

市村委員

各種調査資料や、採択審議委員会の委員の皆様のご意見なども聞かせていただき、また、見本本も見させていただいております。

どの本も、子どもたちがなれ親しめるような内容、また、日ごろの生活に生かせる内容になっており、適切だと感じております。

新たに上がってきている本は、全て子どもたちの障がいの特性だったり発達段階に合わせて教科用図書として使用できると、現場で子どもたちをよく知る先生方が希望しているものだと認識していますので、私は全て採用してよいと考えています。

種田委員

私も、今、市村委員がおっしゃったように、全ての教科用図書を承認してよろしいと思います。

それは、やはり子どもたちの障がいの種類あるいは程度、特性が、その子、その子で違いますので、その子に合った教科書を選定して使えるようになると思います。

この中でも、鉄道が好きな子のために、やはり乗り物が好きな子に適している教科書、あるいは漫画が好きな子のために、「漫画で学べる、学

校では教えてくれない大切なこと」という本があります。全て漫画ですが、漫画が好きな子にとっては、自分の頭の中、体の中に入ってくるものだと感じました。また、ものの名前や計算あるいは図形、そのようなものを勉強しやすい教材もありました。

全て皆さん、教師の方々が子どもたちのために選んでいただいた最適な教科書だと、私も思いました。よろしく願いいたします。

岩本教育長

ほかには、ご意見ございますか。

(意見等：なし)

それでは、特別支援関係の教科用図書につきましては、一人ひとりの発達段階に合わせて教科書を選んでいくことが大切であるため、新規図書と複数種目での希望図書を含めた全ての図書を、教科用図書(教科書)として採択することといたしますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、ご異議がないようですので、議案第21号「令和6年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について」は、発行業者による供給が困難となった図書を除き、「令和6年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書」にあります全ての図書を教科書として採択いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

以上で、本日の全ての審議を終了いたしましたので、閉会といたします。

長時間にわたり、ありがとうございました。

午後4時08分 閉会